

永遠の安らぎの場所

御

壺



7寸

そめにしき しょうずい まどり そうかもん

1. 染錦祥瑞間取草花文〈1644-KJZ〉

- ・本体サイズ(約) 胴径：21cm(蓋径 22.5cm)
高：24cm(蓋のつまみを入ると 高 26.5cm)
高台径：11.5cm
- ・専用桐箱入



上 面

昭和40年代に香蘭社で制作された作品の図柄を基に製作しました。全面に配された祥瑞の中に華やかな地紋を繊細な筆致で描き、さらにその中に菊の花をちりばめました。また、3方の間取り(絵柄は菊、牡丹、蘭)によって白磁の余白の美しさを活かしています。蓋の上中央に、花びらを立体的に薄く仕上げた菊の花を添えることで壺全体を引き締めています。有田焼の名窯香蘭社の熟練職人の技を結集した、伝統的な古伊万里調の文様を堪能できる逸品です。



7寸

せいじ ようこく きく の まい

2. 青磁陽刻菊の舞〈NX1418-KJX〉

- ・本体サイズ(約) 胴径：22cm(両サイドの耳込みの場合、径25cm)
高：25cm
高台径：13cm
- ・専用桐箱入



上 面

青磁の淡い色調の中に、細部まで繊細な彫刻で表現された様々な種類の菊の花が壺を包み込むように咲き誇っています。皇室の紋にもなっている菊は、古くから日本人に愛されてきた花の1つで花言葉は『高貴』、『高潔』、『高尚』です。瑠璃の呉須を吹き付けた後、青磁釉を施して焼成し、さらに全面にブラスト加工を施して、白い花を一輪一輪表現していきます。ブラスト加工された地肌は滑らかな質感で、彫刻の陰影が可憐で優しい雰囲気仕上がっています。



6寸

きんさい まどえ たんさいぎく

3. 金彩窓絵淡彩菊〈3500-KJB〉

- ・本体サイズ(約) (外寸約)径18×高20.5cm
- ・窓付き木箱入



上 面

昭和期における香蘭社の意匠のひとつである「金彩窓絵淡彩菊」を用いました。透き通るような白磁が美しい壺本体の中央に繊細な筆致で彩られた華やかな菊の文様を描き、窓絵となる外側には金彩の葉と小花をバランスよく配したデザインで、気品のある香蘭社文様のひとつとなります。



6寸

そめにしきしくんし

4. 染錦四君子〈1646-KJB〉

- ・本体サイズ(約) (外寸約)径18×高20.5cm
- ・窓付き木箱入



上 面

中国では、「蘭」・「竹」・「梅」・「菊」の高潔な美しさを君子にたとえて『四君子』と称されており、日本でも四季を通して人々に愛されています。絵付は職人による総手描き手濃みです。空間を生かし、流れるような構図で藍色、赤、金などの華やかな有田焼らしい色調に仕上げています。

■ 7寸家型



5. ルリ胡蝶蘭 <R1202-KJBL>



6. 春 蘭 <1228-KJBL>



■ 7寸筒型



9. 金彩竹林文 <6015-KJLN>



木箱上面



10. 色絵吉祥丸紋 <6014-KJLN>



11. 山 水 <2053-KJLN>



7. 吉野桜〈1142-KJBL〉



8. 色絵岩菊〈694-KJBL〉

※5～8(7寸家型)／(外寸約)径21.5×高24cm、木箱入



12. グリーン胡蝶蘭〈G1202-KJLN〉



13. ルリ胡蝶蘭〈R1202-KJLN〉



14. 春蘭〈1228-KJLN〉



15. 吉野桜〈1142-KJLN〉

※9～15(7寸筒型)／(外寸約)径22×高23.5cm、木箱入

■ 6寸家型



16. 金彩竹林文〈6015-KJB〉

明治後期の香蘭社を代表する図柄であり、写実を重視した描法は竹林を揺らす風の音さえも描き出しています。



17. 色絵吉祥丸紋〈6014-KJB〉

古伊万里調の豪華な色彩で、龍や鳳凰、山水などの吉祥文様をバランス良く配しています。繊細なタッチと白磁の空間が生きた格調高いデザインです。

■ 6寸筒型



20. 山 水〈2053-KJM〉



21. 春 蘭〈1228-KJM〉

背 面



22. ダイヤカット〈299-KJM〉

凛とした白さの中に清潔感あふれる白磁、全面に施されたダイヤモンドカットの美しい陰影が純白な白磁の魅力を引き出してくれます



18. 色絵岩菊〈694-KJB〉

香蘭社のデザイン帳から引用した文様の、構図と色調をアレンジして制作し、柿右衛門調に仕上げました。有田焼らしい色彩と空間の美を感じます。



19. 吉野桜〈1142-KJB〉

日本人に愛され、その美意識を育ててきた桜。万葉のふるさと吉野の優雅で気品のある桜を全体に咲かせています。

※16～19(6寸家型)／(外寸約)径18×高20.5cm、窓付き木箱入



23. ルリ胡蝶蘭〈R1202-KJM〉



24. グリーン胡蝶蘭〈G1202-KJM〉



25. ルリ薔薇〈R325-KJM〉

「ロイヤルブルー」と呼ばれる香蘭社独自の深みのある瑠璃釉を施し、全面に金彩の薔薇を配した豪華で気品のあるデザインです。

※20～25(6寸筒型)／(外寸約)径18×高20.5cm、窓付き木箱入

■ 5寸家型



26. 染付鶴梅花文〈6016-KJBS〉

梅樹の下に佇む鶴の群像を繊細な筆致で表現しています。水墨画を思わせる筆使いと的確な描写が際立つデザインです。



27. 青磁〈NX410-KJBS〉



28. 吉野桜〈1142-KJBS〉

■ 5寸筒型



29. 山 水〈2053-KJS〉

千姿百態、自然の景観は時代を越えて愛され、見る人に安らぎを与えてくれます。白磁と呉須のコントラストが美しい飽きのこないデザインです。



30. ダイヤカット〈299-KJS〉



31. 春 蘭〈1228-KJS〉

※26～28(5寸家型)／(外寸約)径15.5×高18cm、窓付き木箱入

■ 4寸筒型



32. ルリ胡蝶蘭〈R1202-KJS〉

「ロイヤルブルー」と呼ばれる香蘭社独自の瑠璃釉を施した、清楚で気品のある胡蝶蘭の花姿が映えるデザインです。



33. グリーン胡蝶蘭〈G1202-KJS〉



34. ルリ薔薇〈R325-KJS〉



背面

35. 春 蘭〈1228-KJS4〉

透き通るような美しい白磁にスケッチから生まれた春蘭の絵柄を伸びやかに、そして生き生きと表現しました。香蘭社らしい気品を感じるデザインです。



36. 吉野 桜〈1142-KJS4〉



37. ルリ胡蝶蘭〈R1202-KJS4〉

※29～34(5寸筒型)／(外寸約)径15×高17.5cm、窓付き木箱入

※35～37(4寸筒型)／(外寸約)径11.5×高14cm、木箱入

■ 3寸筒型



38. ルリ胡蝶蘭 <R1202-KJT3>



39. 吉野桜 <1142-KJT3>



40. 春蘭 <1228-KJT3>



※38～40(3寸筒型)／(外寸約)径8.5×高12.5cm、木箱入

■ 2.5寸筒型



41. ルリ金蘭 <R405-KJSS>

「ロイヤルブルー」と呼ばれる香蘭社独自の深みのある瑠璃釉に、伸びやかに描かれた金彩の蘭の佇まいが気品を感じさせます。



42. 芙蓉淡彩菊 <6017-KJSS>

明治期の図案を復刻したもので、芙蓉花を中心に草花を配し、細部まで繊細な筆致で描かれた格調高いデザインです。



43. 春蘭
<1228-KJSS>



44. 吉野桜
<1142-KJSS>



45. ルリ胡蝶蘭
<R1202-KJSS>



46. 青磁
<NX410-KJSS>

※41～46(2.5寸筒型)／(外寸約)径7.5×高9cm、化粧箱入

■ 手元供養



47. 青磁〈NX410-KJTP〉



48. ばら〈325-KJTP〉



49. ルリ花丸紋〈R3003-KJTP〉

※47～49(時計付き手元供養)／(外寸約)高12cm、化粧箱入



50. ルリ金線
〈R410-KJSK〉



51. 青磁金線
〈NX410-KJSK〉



52. 吉野桜
〈1142-KJSK〉



53. 金ミル花丸紋
〈757-KJSK〉



54. ルリ花丸紋
〈R3003-KJSK〉



55. 春 蘭
〈1228-KJSK〉



56. ルリ胡蝶蘭
〈R1202-KJSK〉

※50～56(手元供養)／(外寸約)径5.5×高6.5cm、化粧箱入

■ 覆 袋



7寸骨壺に対応(白)



5・6寸骨壺に対応(白・緑・青)



3・4寸骨壺に対応(緑・青)



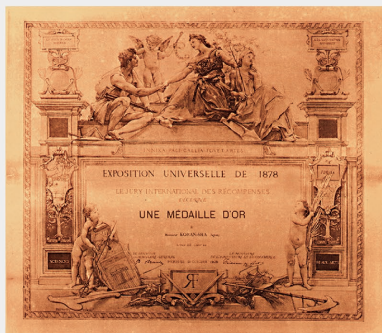
2.5寸骨壺に対応(金・紫)



時を重ね美しさを極める、 有田磁器の正統「香蘭社調」

初代深川栄左衛門が有田で陶磁器の製造をはじめたのが、江戸文化が花開いた元禄の頃。およそ三百三十年前のことです。やがて日本にも近代化の波が訪れ、明治維新の激動期には、これまで有田焼を支えてきた佐賀鍋島藩の一切の保護と支援を失ってしまいます。

そんな中、八代深川栄左衛門は、当時の選りすぐりの陶工や絵付師、陶商たちを一つにまとめ、結社をつくりました。それが香蘭社のはじまりです。明治八年の発足以降、世界各国で開かれた万国博で数々の名誉金牌を受賞。海外でその評価を高めるとともに、明治二十九年には、宮内省御用達の栄を授かり今日に及んでいます。有田色絵磁器の多様な文様を集大成し、時代と共に進化する伝統美は、「香蘭社スタイル」「香蘭社調」と称され、国内外で広く愛されています。



1878年 パリ万国博覧会 金牌賞状



KORANSHA HISTORY

和 暦 西 暦

- 元和 2 年 (1616年) 李参平、有田泉山で白磁鉢を発見し、日本で最初に磁器を焼いたと伝えられる。
- 元禄 2 年 (1689年) 深川家の祖又四郎 (初代深川栄左衛門)、有田で陶磁器製造を始める。
- 明治 8 年 (1875年) 八代深川栄左衛門らにより、合本組織香蘭社が設立される。
- 明治 9 年 (1876年) フィラデルフィア万国博覧会において褒状を受賞。
- 明治10年 (1877年) 大久保利通内務卿より「名誉の章」が贈られる。
- 明治11年 (1878年) パリ万国博覧会において金賞を受賞。
- 明治12年 (1879年) 八代深川栄左衛門、香蘭合名会社設立。
- 明治21年 (1888年) バルセロナ万国博覧会において金賞を受賞。
- 明治29年 (1896年) 宮内省大膳寮より、御用品製造を拝命。
陶磁器品評会が桂雲寺で開催され、これが現在の有田陶器市のはじまりとなる。
- 明治33年 (1900年) パリ万国博覧会において金賞を受賞。
- 明治42年 (1909年) アラスカ=ユーコン=太平洋博覧会においてグランドプライズを受賞。
- 明治43年 (1910年) 日英博覧会においてグランドプライズを受賞。
- 大正 4 年 (1915年) パナマ太平洋万国博覧会においてグランドプライズを受賞。
- 昭和 5 年 (1930年) リエージュ産業・科学・応用芸術国際博覧会においてグランプリ受賞。
- 昭和36年 (1961年) 昭和天皇・皇后両陛下下行幸啓の栄を賜る。1962年にかけて、碍子工場的大幅な設備近代化を実施するとともに本格的な碍子輸出を再開する。
- 昭和44年 (1969年) 皇太子殿下下行啓の栄を賜る。
- 昭和54年 (1979年) 香蘭社設立100周年を迎える。
- 令和 3 年 (2021年) 新ブランド「by koransha」を立ち上げる。
- 令和 6 年 (2024年) 香蘭社設立145周年を迎える。

■ 撮影・印刷の条件により、掲載商品の色、及び寸法が多少実物と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
■ やむを得ない事情により、商品の仕様の一部を変更する場合もございますので、あらかじめご了承ください。